

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ  
右上は新規の  
ビジュアルサイト



インターン生募集中

## インターン体験記①中塚 輝

TVモニターで議会を傍聴した中塚輝さんは、3会派の質疑内容と感想を掲載(吉田)

＜町田市民クラブについての見解＞コロナウイルスについての施政方針を問うものが多く、市内の小中学校から高齢者施設、地元の中小企業、個人事業主の経営支援策に至るまで幅広い角度から質問していました。コロナウイルスの感染者が出た際に記者会見を行わないという周辺の市とは異なる対応した市役所に対して市民の不安が拭えないのではと指摘をしていたのが印象的でした。実際、私も初めて町田市で感染者が出ていたことを知りました。会派全体としては市民の意見を代弁しているという印象でした。

＜吉田議員が所属する保守の会についての見解＞シナリオプランニング、収納事務、待機児童問題、中学校給食喫食率、コロナウイルスなど幅広く質問していました。シナリオプランニングに対しての質疑については民間企業で広く活用されているシナリオプランニングを行い、将来予測をすることにより将来の計画が立てやすくなるため非常に意義のある事業だと思います。しかしながら研究内容を開示し、透明化しなければ実態のわからない事業に費用を投じることにもなりかねない為、有効性を検証していくことは極めて重要であると思います。中学校給食喫食率については現状約10%の喫食率を30%に引き上げるという計画に対しての質疑については見通しが甘いと指摘し、誰がどう決めた基準なのか、達成見込みはあるのかなどを問い、民間企業の感覚では3倍にすることはいかに大変なことかという話をされており、私も同感です。もし本当に3倍にするのであれば普段注文し

ていない生徒もおもしろいそう、食べたいというような気にさせる必要があると思います。食事は各家庭にメニューや味付けが異なるためそれに対抗するのは容易ではないと思います。それに加え、冬になるとスープジャーで様々な汁物を持ってくる生徒もいることを考えると汁物を保温する容器などへの投資もある程度必要だと思いました。会派全体としては子どもや全世代に有益な公共性の高い質疑をしているという印象でした。

＜日本共産党についての見解＞福祉施設事業費や公営住宅維持管理費に対する補助金の削減や市民負担の増加に対して厳しく追及していました。質疑応答の回答をした市役所の担当者が質問と少々異なった回答をした際にも誤りを指摘して、重要な部分の正しい回答をするように求めていたのが印象的でした。会派全体としてはやはり国会と変わらず反対意見が多く、行政の監視をするチェック機能として一役買っているという印象でした。



インターンは大変貴重な為、今後も1回1回を大切にし、経験が有意義なものになるよう臨んでいく次第です。

**中塚 輝 大学1年生(第45期生)**

\*この4月から進入する大学1年生です。

★吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です

★大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅 042-795-7361



FAX: 042-795-2726

## 国際工芸美術館建設予算に反対

**保守の会は保健所・市民病院の支援を表明！**

所属の建設常任委員会で予算審査を行い、(仮称)国際工芸美術館建設、縄文時代遺跡整備を主目的にした芹が谷公園整備に反対する立場で、以下の2点で討論を行いました。

この施設の収蔵予定の工芸品は、

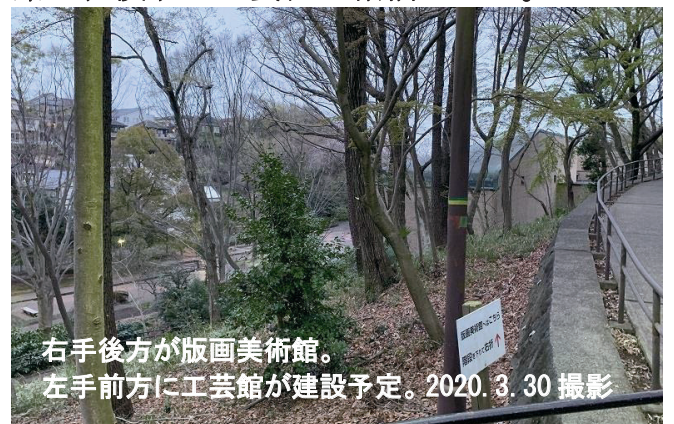
●(仮称)国際工芸美術館の国際とは名ばかりで、ボヘミアングラス、中国、東南アジアの陶器、それに、一般の関心を引きようもない、中国の「鼻煙壺」、それに日本の「大津絵」の類である。どこが国際と言う名に沿った国際的なものか、グローバルなのか不明な作品群を持つに過ぎないものである。 ●町田市の古来伝承文化、芸術にゆかりが無い(保守的な歴史性が欠如) ●町田の文化を象徴する人物の作品がメインになる予定が無い(地元の一流作家、クリエイターの作品が欠けている) ●町田市の文化産業の発展になる計画が無い(地元の産業育成の観点を全く欠いている)

という理由を具体的にあげて批判しました。そして、次の課題を述べました。

現代文明の観点で述べると、町田市はゲームクリエイターの田尻智さんが育った、その技術や時能を習得した都市である。田尻さんは南大谷の都営アパートに住み、心豊かな小学生時代を過ごし、さげすまれた中学生時代を送り、自身で密かに、ピカチュウでなじみのポケットモンスター、いわゆるポケモンの基礎を生み出す、ゲームの研究に没頭してきたわけです。

すなわち、デジタル分野で一大産業と呼べる規模の企業、事業を営んでいます。その田尻智さんは、南大谷の都営アパートに長く

居住しており、高ヶ坂、本町田、原町田あたりを生活圏にする中で、この偉大な芸術品、あるいは工芸品を生み出したわけです。そうした独自の文化、地域に育ったインターナショナルなもの、あるいは人に学ぶ、勉強する館に転換する必要性を指摘したい。



右手後方が版画美術館。左手前方に工芸館が建設予定。2020. 3. 30 撮影

次に、遺跡の在り方から公園整備の趣旨として、「町田市歌」にも出てくる高ヶ坂遺跡の石器の文明を対象にした研究・研修の場が相応しい。地元の高ヶ坂の牢場遺跡は、「敷石住居跡」として知られるが、ここは地元旧南村の小学校の校長先生という教育者であり、研究家が発掘したもの。日本で最初に発見された「敷石住居跡」であり、日本の石器時代文明を解明する基礎になったものである。芹が谷公園内の遺跡全体が石器時代文明の今に伝えることを対象にした建設であれば理解し得るものである。それを縄文時代遺跡の公園と称するのは月並みであり、将来の町田市の中核的機能を果たす公園の有り様として適切ではない。以上の理由で、第7号議案 一般会計予算に反対します。(以上)

◎議会の中には、この国際工芸美術館建設を支持しない傾向が多数ありますが、修正案を提出する確固たるスタンスも無く、以前より市長に追随する傾向が強く見られます。

★ 政党無所属・市議会は「保守の会」 [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)